

『おおきな木(通級指導教室)』だより

豊中市立高川小学校 令和6年(2024年)4月18日 No.1



『おおきな木(通級指導教室)』のご案内

豊中市では、昨年度からすべての小・中学校・義務教育学校に、通級指導教室が設置され、高川小学校でも設置されました。

おたより NO.1 では、『おおきな木(通級指導教室)』についてお知らせします。

(『おおきな木』は、豊中市小学校の通級指導教室の愛称です。)

何のための教室か・・・

様々なサポートが必要な子どもたちのための教室です。

「小学校学習指導要領」第1章総則により、日本全国の学校に設置されています。

どのような子どもたちが対象か・・・

- ・ 落ち着きがなく、気が散りやすい。
- ・ 文字を書くことが苦手。
- ・ 文章をすらすら読めない。
- ・ 文章の読み取りが苦手。
- ・ 予定を立てることや、物の管理が苦手。
- ・ 感情のコントロールが苦手。
- ・ コミュニケーションをとるのが苦手。
- ・ 声にだして発表することや人前で話すことが不安。
- ・ 発音が気になる。
- ・ ことばがつかまって、なめらかに話せない。

このような“困り感”をもっている子どもたちが対象です。

どのように申し込めばよいのか・・・

『おおきな木』に通ってみようかな、と思われたら、まずは担任の先生にご相談ください。“話を聞いてみたい”“相談だけ”という希望もお伺いします。

いつでも申し込みできますので、本人と保護者の方で、一緒に考えてください。

どんなことをするのか・・・

このような“困り感”をもつ子どもたちは、注意したり叱ったり、何度も繰り返し学習したりするだけでは、問題が解決しにくい場合が多いです。

『おおきな木』では、「読む・書く・聞く」などに特化した学習や、SST(ソーシャルスキルトレーニング)など、通常の学習指導とは違った角度から“困っている子どもたち”を支援します。

指導内容は、本人の“困り感”“苦手感”によってさまざまですが、昨年度実施した内容は、以下の通りです。

- ・ 感覚統合トレーニング(ふだん自覚せずに使う感覚をバランスよく使えるように)
- ・ 認知機能強化トレーニング
(写す、数える、想像する、記憶する力といった認知機能を鍛える)
- ・ 認知作業トレーニング(身体的不器用さに対応)
- ・ ビジョントレーニング
- ・ アンダーコントロールトレーニング
- ・ ソーシャルスキルトレーニング
- ・ 音韻認識、処理のトレーニング
- ・ 話す、聞く、読む、書くに特化した指導
- ・ 構音指導(言語指導) など

入級から退級までの流れ・・・

本人、保護者の方(高学年の場合は、本人だけでも可)から

- ・ どんなことに困っているかを伺います。
- ・ 『おおきな木』で何をするのか、相談して決めます。
- ・ クラスの時間割をもとに、『おおきな木』に通う曜日・時間を決めます。
- ・ 個別指導かグループ指導で行うかは、おおきな木の時間割や本人の課題を考慮しつつ、相談して決めます。

通級指導教室の場所は・・・

新館2階(図書館の横)の部屋です。

ドアの小窓から、おおきな木の絵が見える部屋です。

(豊中市立高川小学校 通級指導教室担当:小林 文絵)